

■英国：ヒンクリーポイント新規建設プロジェクトの買取価格が決定

英国政府は2013年10月21日、フランス EDF の子会社 EDF エナジーがヒンクリーポイントに新規建設予定のEPR（2基で約320万kW）の固定価格買取制度における買取価格（ストライクプライス）について、もう1つの建設予定地であるサイズウェルでも新規建設を決定した場合は8.95ペンス（約14.1円）/kWh、そうでない場合は9.25ペンス（約14.6円）/kWhとすることで、EDFと合意したことを明らかにした。保証期間は運転開始から35年間。総工費は160億ポンド（約2兆5,000億円）、期待される雇用創出は2万5,000人、2014年7月までに投資に関する最終決定が下され、2023年から運転開始予定、英国内電力需要の7%を賄う見通し。EDFは同日、本プロジェクトの共同出資者について、中国広核集団（CGN、中国広東核電集団（CGNPC）が2013年5月に社名変更）と中国核工業集団（CNNC）が合わせて30～40%程度出資、仏原子力大手のアレバが10%程度出資することに加え、さらに、協議中の他企業が最大15%出資する可能性があることを明らかにした。英国のオズボーン財務相は、今回の発表に先立ち、2013年10月17日、本プロジェクトへの中国企業の出資を受け入れる方針を明らかにしていた。